

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム課

担当名: 企画・研修担当

内線: 2280

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B14	オープンデータ化推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	なし			宣言項目			
						分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上		
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>行政情報における県民等のニーズを把握するとともに、庁内で保有している行政情報のオープンデータ化を推進する。また、公開場所の一元化や様式の統一等を実施することで、新たな価値を創造し、地域経済の活性化や県民生活の利便性の向上を図る。</p> <p>本事業では、効果的で効率的なオープンデータ化の推進を実現するために、データカタログ（一元化システム）を運用し、効果的なデータ活用を促進していく。</p> <p>(1) データカタログの運用 △2,147千円 委託料の契約差金発生による減</p> <p>(2) 効果的なデータ活用の促進 △424千円 実施方法の見直しによる減</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア データカタログの運用 5,634千円 データ一覧表示機能、検索機能などの利便性を考慮したデータカタログを運用するとともに、セキュリティパッチの適用や、県民ニーズに対応したシステム改修等を実施する。</p> <p>イ 効果的なデータ活用の促進 424千円 個々のデータについて、二次加工しやすいデータ形式への変換支援やWebAPI等のツールの作成支援を委託する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成27年度: 設計開発、システム稼働及び効果的なデータ活用の促進 ・データカタログの構築及びシステムを運用する</p> <p>イ 平成28年度: システム運用及び効果的なデータ活用の促進 ・データカタログの運用、システムの利便性の向上に対応する ・オープンデータ化による新たな価値の創造の検討を行う</p> <p>ウ 平成29年度: システム運用及びデータ活用事例の開拓 ・データカタログの運用、システムの利便性の向上に対応する ・LOD化推進及びデータ変換等の支援を行う ・活用事例の開拓を行う</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 県が保有している多様で膨大な情報を二次利用しやすい電子データの形式で積極的に公開することは、地域経済の活性化や県民生活の利便性向上につながる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、県職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>ア 県内市町村が保有するデータを取り込み公開場所の一元化を図る。</p> <p>イ 民間データとの組み合わせにより新たな価値を創造する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 委託料の契約差金発生による減</p> <p>イ 実施方法の見直しによる減</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500円×1.0人=9,500千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,571							△2,571	3,487
現計額	6,058							6,058	